



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL <https://zigexn.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO （氏名）平尾 丈
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 （氏名）波多野 佐知子（TEL）03(6432)0352
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2021年3月期第2四半期	5,575	△15.9	1,740	△27.5	△2,691	—	△2,694	—	△3,014	—	△3,013	—	△3,017	—		
2020年3月期第2四半期	6,626	10.0	2,401	—	2,028	5.3	2,026	5.3	1,386	6.1	1,386	6.1	1,383	5.8		
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益											
	円 銭				円 銭											
2021年3月期第2四半期	△27.54				△27.54											
2020年3月期第2四半期	12.48				12.47											

(注1) 2021年3月期第1四半期より新たにEBITDAを記載しております。

(注2) EBITDA=営業利益(損失)+減価償却費及び償却費+減損損失+固定資産除却損及び評価損-負ののれん発生益

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	18,147		12,011		12,009		66.2	
2020年3月期	22,406		16,264		16,261		72.6	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	11,500	△12.9	3,300	△28.5
	~13,500	~2.3	~4,500	~△2.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	111,700,000株	2020年3月期	111,700,000株
2021年3月期2Q	3,344,990株	2020年3月期	577,290株
2021年3月期2Q	109,419,705株	2020年3月期2Q	111,103,431株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大やそれに伴う経済活動の制限など、マクロ環境の変化による影響を受け、人材領域、生活領域ともに一時的な業績の落ち込みが見られました。

このような事業環境のもと、当社グループは、引き続き、既存事業の展開領域及び展開地域の拡張と新規事業の創出並びにビジネスモデルの多様化に努めて参りました。また、主に中小規模の法人顧客の商流に組み込まれ、安定的な業績貢献が見込まれる「積み上げ型収益」の拡充を、優先的に取り組むべき重要な経営課題と認識して注力しております。

当社グループの事業は、ライフメディアプラットフォーム事業とその他事業で構成されております。

ライフメディアプラットフォーム事業における注力分野である『人材領域』、『不動産領域』、『生活領域』の状況は以下のとおりです。

a. 人材領域

人材領域は、『アルバイトEX』、『dジョブ』、『転職EX』等の求人に関連するアグリゲーションメディアと株式会社リジョブ(美容、リラクゼーション、介護等の領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジョブ』を運営)、株式会社三光アド(東海地方に特化した求人情報を提供する媒体『求人情報ビズ』等を運営)、株式会社ブレイン・ラボ(人材紹介会社、人材派遣会社向けの業務システム『キャリアプラス』、『マッチングッド』を運営)等から構成されております。

当領域に係る外部環境に関して、2020年4、5月の緊急事態宣言以降は、採用意欲の緩やかな復調が見られ、当社グループの『リジョブ』においては、当第2四半期連結累計期間における新規契約社数が前期比で大幅に回復しており、利用再開社数につきましても増加傾向にございます。一方で、株式会社三光アドに関しては、新型コロナウイルス感染症影響による紙メディアの市場規模縮小による収益性の低下が、当初想定した期間を超えて継続しております。今後数年にかけてインターネットメディアからの収益拡大等により同社の収益性は緩やかに回復していくと仮定して見積りを行った結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、当該のれんの減損損失1,580百万円を計上しております。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響下において、リアル媒体からインターネット媒体への顧客関心の移行が加速している状況を鑑み、インターネット媒体からの売上収益の更なる拡大を目指して参ります。

当領域のユーザーサイドに関しては、求職者の動きは比較的堅調に推移しております。

2020年9月30日には、HITOWAキャリアサポート株式会社を連結子会社化しており、人材領域の中でも成長が見込まれる介護等の領域へ本格参入しております。

当社グループでは、引き続き、景気連動する求人広告市場において、景気との相関性が高い掲載課金モデルと景気に相関しづらい成果報酬課金モデルを両有することにより、安定的に収益を生み出すことを志向しております。

b. 不動産領域

不動産領域は、『賃貸スモッカ』、『ミノリノ』、『引越し見積もりEX』等の不動産に関連するアグリゲーションメディア及び特化型メディアと『エリアビジネスマーケティングプロジェクト』、及びリフォーム会社比較サイト『リショップナビ』や外壁塗装会社比較サイト『プロヌリ』から構成されております。

当領域に係る外部環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても、比較的安定して推移して参りました。

『賃貸スモッカ』においては、大手不動産賃貸メディアや不動産事業者との提携強化によるデータベースの拡充に加えて、LINEやメールマガジンなど、集客チャネルの多様化を推進したことなどによって、比較的堅調に推移しております。また、『リショップナビ』に関して、クライアントサイドのリフォーム工事業者の出稿需要は引き続き堅調に推移しており、加えて、巣ごもり需要の一環として一般ユーザーの住宅リフォーム、リノベーションの意欲は拡大傾向にあり、収益は拡大いたしました。

2020年10月22日には、主に個人ユーザー向けの外壁塗装工事業者比較メディアである『外壁塗装コンシェルジュ』の事業譲受契約を締結しており、不動産領域における更なる事業成長を目指しております。

c. 生活領域

生活領域は、『中古車EX』、『TCV』等の自動車に関連するアグリゲーションメディア及び特化型メディアと株式会

社アップルワールド（海外ホテル予約媒体『アップルワールド』等を運営）から主に構成されております。自動車分野に関して、中古車輸出会社の出稿意欲には緩やかな復調が見られ、ユーザーサイドにおける需要も緩やかに回復しております。

旅行分野においては、国内旅行需要は緩やかな回復が見られている一方で、新型コロナウイルス感染症影響の長期化によって、海外への渡航需要は引き続き底這いで推移しております。当第2四半期連結累計期間において、株式会社アップルワールドについては、新型コロナウイルス感染症影響による海外渡航需要の低迷等による収益性の低下が、当初想定した期間を超えて継続し、今後数年にかけて緩やかに回復していくと仮定して見積りを行った結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、のれん等に係る減損損失1,931百万円を計上しております。

今後に関しては、国内旅行需要の緩やかな回復等を踏まえて、個人ユーザー向け航空券比較メディアである『TRAVELIST』を中心とした、国内事業への経営資源の優先的配分と費用構造の最適化を進めつつ、海外渡航需要が回復した場合は、速やかに収益獲得できるよう努めて参ります。

その他事業においては、株式会社にじげんを中心に、コンシューマ課金サービス等を営んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は5,575百万円(前年同期比15.9%減)、売上総利益は4,653百万円(前年同期比16.8%減)、営業損失は2,691百万円(前年同期比-)、税引前四半期損失は2,694百万円(前年同期比-)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は3,013百万円(前年同期比-)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は18,147百万円(前連結会計年度末比4,259百万円減)となりました。これは主に、のれんが3,613百万円、その他の流動資産が511百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,136百万円(前連結会計年度末比6百万円減)となりました。これは主に、その他の金融負債が299百万円、リース負債が143百万円減少した一方、借入金が590百万円増加したこと等によるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は12,011百万円(前連結会計年度末比4,253百万円減)となりました。これは主に、利益剰余金が3,346百万円、自己株式の取得により918百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末より431百万円増加し、7,062百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,403百万円となりました。これは主に、税引前四半期損失の計上2,694百万円、減損損失の計上3,986百万円、営業債権及びその他の債権の減少額474百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、147百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出300百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入155百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、831百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出919百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日に発表した「2021年3月期 第1四半期決算短信」に記載の数値から変更はありません。

また、2021年3月期の期末配当予想につきましては、未定としておりましたが、株主への利益還元観点から、1株当たり配当額を3円といたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2020年11月13日)公表の「減損損失等の計上及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,631	7,062
営業債権及びその他の債権	2,014	1,755
その他の金融資産	3	59
その他の流動資産	783	272
流動資産合計	9,430	9,148
非流動資産		
有形固定資産	141	119
使用権資産	1,211	1,051
のれん	9,428	5,815
無形資産	1,348	1,023
その他の金融資産	470	451
繰延税金資産	378	540
その他の非流動資産	1	0
非流動資産合計	12,977	8,999
資産合計	22,406	18,147

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	431	231
営業債務及びその他の債務	861	711
その他の金融負債	1,379	1,080
未払法人所得税等	535	501
引当金	170	130
リース負債	416	412
その他の流動負債	769	768
流動負債合計	4,560	3,832
非流動負債		
借入金	622	1,412
引当金	128	157
リース負債	753	614
繰延税金負債	44	73
その他の非流動負債	35	48
非流動負債合計	1,582	2,304
負債合計	6,142	6,136
資本		
資本金	2,552	2,552
資本剰余金	2,538	2,538
利益剰余金	11,578	8,232
自己株式	△401	△1,319
その他の資本の構成要素	△6	7
親会社の所有者に帰属する 持分合計	16,261	12,009
非支配持分	2	2
資本合計	16,264	12,011
負債及び資本合計	22,406	18,147

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	6,626	5,575
売上原価	△1,035	△922
売上総利益	5,591	4,653
販売費及び一般管理費	△3,608	△3,443
その他の収益	48	102
その他の費用	△3	△4,003
営業利益(△は損失)	2,028	△2,691
金融収益	1	0
金融費用	△3	△3
税引前四半期利益(△は損失)	2,026	△2,694
法人所得税費用	△640	△320
四半期利益(△は損失)	1,386	△3,014
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	1,386	△3,013
非支配持分	△1	△1
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	12.48	△27.54
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	12.47	△27.54

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	3,137	2,768
売上原価	△491	△454
売上総利益	2,647	2,314
販売費及び一般管理費	△1,718	△1,689
その他の収益	31	88
その他の費用	△1	△4,002
営業利益(△は損失)	960	△3,290
金融収益	0	0
金融費用	△1	△2
税引前四半期利益(△は損失)	959	△3,291
法人所得税費用	△305	△144
四半期利益(△は損失)	654	△3,435
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	653	△3,437
非支配持分	0	1
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	5.88	△31.64
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	5.88	△31.64

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益 (△は損失)	1,386	△3,014
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△3	△3
その他の包括利益合計	△3	△3
四半期包括利益	1,383	△3,017
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,383	△3,016
非支配持分	△1	△1

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益(△は損失)	654	△3,435
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1	△2
その他の包括利益合計	△1	△2
四半期包括利益	653	△3,437
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	652	△3,439
非支配持分	0	1

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2019年4月1日残高	2,542	2,528	9,134	△401	△0	13,802	—	13,802
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△2	—	—	△2	—	△2
2019年4月1日調整後残高	2,542	2,528	9,131	△401	△0	13,800	—	13,800
四半期利益(△は損失)	—	—	1,386	—	—	1,386	△1	1,386
その他の包括利益	—	—	—	—	△3	△3	—	△3
四半期包括利益合計	—	—	1,386	—	△3	1,383	△1	1,383
新株予約権の行使	10	10	—	—	△0	20	—	20
新株予約権の発行	—	—	—	—	1	1	—	1
配当金	—	—	△222	—	—	△222	—	△222
非支配持分を伴う子会社の設立	—	—	—	—	—	—	2	2
所有者との取引額合計	10	10	△222	—	1	△201	2	△199
2019年9月30日残高	2,552	2,538	10,296	△401	△3	14,982	1	14,983

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2020年4月1日残高	2,552	2,538	11,578	△401	△6	16,261	2	16,264
四半期利益(△は損失)	—	—	△3,013	—	—	△3,013	△1	△3,014
その他の包括利益	—	—	—	—	△3	△3	—	△3
四半期包括利益合計	—	—	△3,013	—	△3	△3,016	△1	△3,017
新株予約権の発行	—	—	—	—	16	16	—	16
配当金	—	—	△333	—	—	△333	—	△333
自己株式の取得	—	—	—	△919	—	△919	—	△919
その他	—	0	—	—	△0	△0	—	△0
所有者との取引額合計	—	0	△333	△919	16	△1,236	—	△1,236
2020年9月30日残高	2,552	2,538	8,232	△1,319	7	12,009	2	12,011

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	2,026	△2,694
減価償却費及び償却費	373	477
負ののれん発生益	—	△76
減損損失	—	3,986
金融収益及び金融費用 (△は益)	3	3
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	240	474
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△87	△293
預り金の増減額 (△は減少)	61	△36
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△202	124
その他	△243	△239
小計	2,170	1,726
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△3	△3
法人所得税等の支払額	△678	△740
法人所得税等の還付額	—	420
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,489	1,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30	—
有形固定資産の取得による支出	△66	△13
無形資産の取得による支出	△197	△300
敷金・保証金の差入れによる支出	△24	—
敷金・保証金の回収による収入	34	11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	155
その他	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	10
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△840	△320
リース負債の返済による支出	△93	△217
新株予約権の行使による株式の発行による収入	20	—
配当金の支払額	△201	△300
自己株式の取得による支出	—	△919
その他	1	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,093	△831
現金及び現金同等物の換算差額	6	5
現金及び現金同等物の増減額	181	431
現金及び現金同等物の期首残高	7,278	6,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,459	7,062

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。